

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	①医療提供体制の充実・高度化	
			施策の小項目名	○地域医療連携体制の構築	
主な取組	IT活用地域医療連携システム構築事業			実施計画記載頁	122
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
圏域の中核病院である県立病院に電子カルテ共有システムを整備し、県医師会が構築する地域連携クリティカルパス(おきなわ津梁ネットワーク)により地域の医療連携体制を構築する。		がん:5、糖尿:1 脳卒中:5 心筋梗塞:0 地域連携クリティカルパス導入圏				がん:5、糖尿:3 脳卒中:5 心筋梗塞:3
実施主体	県、県医師会					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課	【098-866-2111】	電子カルテシステムの整備			

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
地域医療構想を実現する医療機能強化事業							当初予算額	主な財源		
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額				
県単等	補助	14,813	104,493	75,148	15,818	19,935	20,000	県単等	○H29年度: 急性期から回復期及び慢性期に患者を誘導するため、疾患に限定しない治療計画共有システムを構築し、病床機能の重点化を行うための仕組みを構築した ○H30年度: 在宅医療施設と介護事業所で情報共有できるコミュニケーションシステムを構築し、急性期から在宅介護までの機能分化とネットワークの充実等を図る	
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(がん)				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要 県医師会が構築する地域連携クリティカルパス(おきなわ津梁ネットワーク)について、ホームページ等を活用して加入促進のための普及啓発を支援した結果、加入登録者数が前年度から12,016人増加し、39,205人となった。 進捗状況の判定根拠と取組の効果 地域連携のクリティカルパス導入圏域数は計画値を達成した。 また、地域連携クリティカルパス(おきなわ津梁ネットワーク)の加入施設数は163施設、登録患者数は39,205人となっており、患者本人の状態(特定健康診査の結果や受診記録など)がわかり、効果的な保健指導や治療ができる。
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	5	5	5	5	5	5	100.0%	19,935	順調	
活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(糖尿病)				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	1	1	1	1	1	1	100.0%			
活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(脳卒中)				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	3	3	3	3	5	5	100.0%			
活動指標名	地域連携クリティカルパス導入圏域数(心筋梗塞)				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	0	0	0	0	0	0	100.0%			
活動指標名	ネットワーク加入登録者数				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	3,220	4,372	13,169	27,189	39,205	40,000	98.0%			

様式1(主な取組)

(2)これまでの改善案の反映状況	
平成29年度の取組改善案	反映状況
<p>①おきなわ津梁ネットワークへの医療機関及び県民の加入促進を図るため、引き続き広報活動を継続していく。</p> <p>②参加医療機関がおきなわ津梁ネットワークが十分に利活用できるよう活用方法についての説明を行う。</p> <p>③未参加医療機関に対しては、おきなわ津梁ネットワークの活用についての説明を行っていくとともに、参加促進のための方策を検討する必要がある。</p>	<p>①医療機関への説明会、ホームページ等を活用した県民への広報活動を実施した。</p> <p>②医療機関への説明会において活用事例を紹介し、利活用の方法を分かりやすく説明した。</p> <p>③平成29年度に疾患に限定しない治療計画共有システムを構築し、利便性の向上により未参加医療機関の参加促進を図った。</p>

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)	
<p>○内部要因</p> <p>・平成28年度に在宅医療連携システムを構築したことにより、介護サービス事業所(H28:1施設→H29:4施設)、歯科診療所(H28:0→H29:13)の参加があった。</p>	<p>○外部環境の変化</p>
(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
<p>・病院だけでなく、薬局や介護サービス事業者、歯科診療所等の加入施設の増加を図ることにより、ネットワーク機能の充実による加入登録者の利便性向上及び新規加入登録者数の増加につなげていく必要がある。</p>	

4 取組の改善案(Action)

<p>・多職種連携を強化するため、在宅医療施設及び介護事業所等で効果的な情報共有を実現するコミュニケーションシステムを構築する。</p>
--

様式1(主な取組)

活動指標名	「おきなわがんサポートハンドブック」発行部数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	25,000部	25,000部	100.0%	8,268	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①ハンドブックの作成については、医療施設や患者会に関わる情報や、患者への経済的・社会的支援に関わる情報の時点修正を行い、正確な情報を提供するとともに、患者等が必要とする情報の追加を行っていく。						①委託先である琉球大学医学部附属病院を中心に、県内関係医療機関・患者会・社会保険労務士等有識者とハンドブックの内容について事前に検討を行い、時点修正や見やすさの工夫を重ねた。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・ハンドブックに記載されている病院・患者会に関する情報や、患者に対する経済的・社会的な支援制度に関する情報には変更がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・ハンドブックの作成については、医療従事者やがん患者関係者、社会保険労務士等有識者・関係者と連携を図り、患者やその家族などの意見等を踏まえ、医療施設や患者会に関わる情報や、患者への経済的・社会的支援に関わる情報の時点修正を行い、正確な情報を提供する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・ハンドブックの作成については、医療施設や患者会に関わる情報や、患者への経済的・社会的支援に関わる情報の時点修正を行い、正確な情報を提供するとともに、患者等が必要とする情報の追加を行っていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	①医療提供体制の充実・高度化	
			施策の小項目名	○医療提供体制の整備	
主な取組	へき地診療所施設整備等補助事業費			実施計画記載頁	122
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
離島・へき地における安定的な医療の確保を図るため、診療所の施設整備を行う市町村に対し補助を行う。		29	30	31	32	33
実施主体	県、市町村	へき地離島診療所施設整備				
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
予算事業名	へき地診療所施設整備補助事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 市町村から要望等なし。	
各省計上	補助	80,550	167,177	0	0	0	0	各省計上	○H30年度: 市町村からの要望等なし。	
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	補助施設整備に向けた取組				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		実施	実施	実施	実施	実施	—	100.0%	0	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①市町村からの要望があれば、離島・へき地地域における安定的な医療を確保するため、計画通りに事業遂行できるよう現地の事業に精通している各町村担当者と連携を図り、綿密に調整を行う。</p> <p>②市町村からの要望があれば、離島・へき地地域では資材や人材確保、原材料高の影響による入札不調等により、工事の長期化が懸念されることから、施工計画の定期的な見直し等、進捗管理を徹底する。</p>						<p>①平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実施はなかった。</p> <p>②平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実績はなかった。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実施はなかったが、今後要望があった場合は、整備対象施設が離島やへき地にあるため、資材確保に時間を要するほか、近年の建築関係工事の人材不足、原材料高の影響による入札不調等、工事が長期にわたる傾向がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・平成29年度については、市町村からの要望がなかったことから取組実施はなかったが、今後要望があった場合は、施設整備を行う上で、県担当部署が現地の事情に精通した各町村と綿密に調整して、計画の通りの事業が遂行できるよう連携が必要である。
・毎年度、市町村の要望を確認するとともに、過去に実施した離島、へき地地域における施設整備等の公共工事に関する前例を確認し、工期や各地域の個別状況に留意する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・市町村からの要望があれば、離島・へき地地域における安定的な医療を確保するため、計画通りに事業遂行できるよう現地の事業に精通している各町村担当者と連携を図り、綿密に調整を行う。

・市町村からの要望があれば、離島・へき地地域では資材や人材確保、原材料高の影響による入札不調等により、工事の長期化が懸念されることから、施工計画の定期的な見直し等、進捗管理を徹底する。

様式1(主な取組)

活動指標名	がん診療連携拠点病院等への補助件数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		5箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	100.0%	43,697	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
①平成29年度からは、北部地域において、北部地区医師会病院が地域がん診療病院に指定されることから、県内全域でがん医療の均てん化が図られる。						①平成29年度から北部地域において、北部地区医師会病院が地域がん診療病院に指定され、医療提供体制の充実が図られた。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・平成30年度に、拠点病院等の指定に係る国の整備指針改定が見込まれる。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・改訂後の指針に基づくがん医療提供体制の維持や充実・強化を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・沖縄県がん診療連携協議会(琉球大学医学部附属病院主催)や、拠点病院担当者会議などをととして、関係機関と改訂後の整備指針について情報共有を行い、がん医療連携体制の充実・強化を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進	施策	①医療提供体制の充実・高度化	
			施策の小項目名	○医療提供体制の整備	
主な取組	沖縄医療施設等施設整備事業			実施計画記載頁	123
対応する主な課題	①近年は、生活習慣病などの慢性的な病気が中心となっており、病気の治療が長期化する傾向にある。また、医療技術や医療施設の高度化など医療の質への関心が高まっていることなどに対応した医療提供体制の充実・高度化が求められている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境及び医療従事者の職場環境の改善並びに医療従事者の養给力の充実を図るため、老朽化等に伴い移転新築する医療機関の整備費用に対し補助を行う。		1箇所 補助施設数	→			
実施主体	県、医療機関					
担当部課【連絡先】	保健医療部医療政策課 【098-866-2111】					
		医療機関に対する施設整備補助				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
予算事業名	沖縄医療施設等施設整備事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 移転新築を行う医療機関の要望に基づき、整備費用の補助を行った。	
一括交付金 (ハード)	補助	—	—	1,126,564	956,333	638,922	478,166	一括交付金 (ハード)	○H30年度: 移転新築を行う医療機関の要望に基づき、整備費用の補助を行う。	
予算事業名							H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度 決算額	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度:	
									○H30年度:	

様式1(主な取組)

活動指標名	補助施設数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	1	1	1	1	100%	638,922	順調	活動概要 老朽化及び事業拡大のために移転新築を計画する医療機関に対し、施設整備に係る費用の補助を行った。
活動指標名					H29年度					
実績値										
活動指標名					H29年度					
実績値										進捗状況の判定根拠と取組の効果 1 医療機関の移転新築に要する費用に対して補助を行うことにより、当該地域における良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保に繋げることができた。
活動指標名					H29年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
・施設整備を行う上で、県担当部署が各医療機関等と綿密に調整を行う。 ・用地買収交渉の難航に伴う用地取得の遅延、資材の入手難による不測の日数を要する等により、工事の長期化が懸念されることから、施工計画の定期的な見直し等、進捗管理を徹底する。						・施設整備を行う上で、県担当部署が各医療機関等と綿密に調整を行った。 ・用地買収交渉の難航に伴う用地取得の遅延、資材の入手難による不測の日数を要する等により、工事の長期化が懸念されることから、施工計画の定期的な見直し等、進捗管理を徹底した。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・県と補助事業者が綿密かつ定期的な調整を行うことで実施要綱に基づく適正な事業実施を図り、良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保に繋げる。

○外部環境の変化

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県と補助事業者が綿密かつ定期的に調整を行い実施要綱に基づく適正な事業実施を図り、良質かつ適正な医療を効率的に提供する体制の確保に繋げる必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・県と補助事業者が綿密な調整のうえで作成した事業計画に基づき適正な事業の実施を図るとともに、定期的な進捗管理や見直しを行うことにより、当該地域における良質かつ適正な医療提供体制の確保に繋げる。

様式1(主な取組)

活動指標名	沖縄県地域医療対策会議等の開催回数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	19	20	95.0%	10,693	順調	<p>病床機能の機能分化と連携及び慢性期医療の地域移行を支える体制の構築を推進するため、医療機関、医療関係団体、市町村等による協議の場として、県内5圏域ごとに沖縄県地域医療対策会議を計19回開催し、延べ742人が参加した。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
										<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>沖縄県地域医療構想は平成29年3月に策定し、平成29年度から同構想の推進を始めている。平成29年度は同構想の内容を沖縄県地域医療対策会議の場で、医療機関等の関係者へ説明し、構想推進の必要性について周知した。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
						<p>①県内5つの医療圏ごとに、沖縄県地域医療構想の推進等に関して協議を行う場として、沖縄県地域医療対策会議を設置し、平成29年5月から平成30年2月までの間に、計19回開催した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

沖縄県地域医療構想を包含する第7次沖縄県医療計画を平成30年3月に策定している。

○外部環境の変化

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

第7次沖縄県医療計画では、5疾病5事業及び在宅医療に関する必要な施策等を定めており、構想で定める病床機能の分化・連携の推進等に加えて、疾病ごとの適切な医療提供体制について協議を進める必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・病床機能ごと(急性期、回復期等)の協議だけでなく、疾病ごとの医療提供体制等についても協議を進めるため、病床機能ごと、疾病ごとの分野別で協議を進める。

様式1(主な取組)

活動指標名	がん診療連携拠点病院等の相談窓口数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	100.0%	9,015	順調
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>①ピアサポーターの養成を推進するために、研修を修了したがんピアサポーターへ活動のために必要な支援を行う。</p> <p>②ハローワークと拠点病院が連携して実施する「就職支援モデル事業」(長期療養者就職支援事業)の円滑な実施に向け、関係機関と協力し、がん患者の就労支援の強化に努める。</p>						<p>①がんピアサポーターによる意見交換会や交流会の開催など、がんピアサポーターの活動の場を設けることで、相談技術の維持・向上を図った。</p> <p>②平成29年5月に開催された長期療養者就職支援担当者連絡協議会に参加し、関係機関と情報共有を行うことで、がん患者の就労支援について連携を強化した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・平成29年度から、新たに沖縄労働局が中心となる「沖縄県地域両立支援推進チーム」が発足し、沖縄県・琉球大学医学部附属病院等の関係機関が連携し、がん患者等の就労支援に取り組むこととなった。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・国の「がん対策推進基本計画」(平成29年10月)において、ピア・サポートの普及を図ることが施策として定められたことから、今後もピアサポーターの養成を継続する必要がある。
- ・がん患者の就労支援について、どのような支援が必要か把握し、関係機関との連携を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

- ・国の「がん対策推進基本計画」(平成29年10月)において、ピア・サポートの普及を図ることが施策として定められたことから、今後もピアサポーターの養成を継続する。
- ・那覇公共職業安定所が主体となって進める「長期療養者就職支援事業」や、沖縄労働局主催の「沖縄県地域両立支援推進チーム」に参画することで、がん患者の就労支援の強化に努める。

様式1(主な取組)

活動指標名	補助市町村数				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	13	18	72.2%	6,894	やや遅れ	<p>平成29年度新規事業である離島患者等支援事業について、市町村への事業周知を図った結果、13市町村が本事業を活用し、延べ2,123人の負担軽減を図った。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>対象18市町村中13市町村が本事業を活用することにより、離島患者等が島外へ通院する際の経済的負担を軽減し、良質かつ適切な医療を受ける機会を確保した。</p> <p>なお、残り5市町村中3市町村については、独自事業により、島外への通院を要する離島住民に対して助成を行い経済的負担の軽減を図っている。</p>
活動指標名					H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・関係市町村による離島患者等に対する助成が促進し、離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを踏まえた柔軟かつ効率的な執行を行う。
・本事業の活用に際しては補助要件ではないが、市町村による離島患者等への助成の拡充を図る。

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換等を定期的に行い、より効率的かつ効果的な制度設計等を図る必要がある。
・市町村による離島患者等への助成の拡充を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・離島・へき地の医療提供体制の状況、離島地域の高齢化に伴う疾病構造の変化、市町村及び離島患者等のニーズを的確に把握するため、地域住民に最も身近な市町村との意見交換の機会を継続して確保し、より効率的且つ効果的な制度設計等を図る。
・市町村の取組状況を県HPに公表するとともに、市町村による離島患者等への助成の拡充に対し働きかけを行っていく。